



「永遠の愛をもって、わたしはあなたを愛した。それゆえ、わたしはあなたに、誠実を尽くし続けた。おとめイスラエルよ。わたしは再びあなたを建て直し、あなたは建て直される。」(エレミヤ 31:3~4)



エターナル・ラブ・イスラエルは、日本国内でユダヤ人に福音を伝える働きです。

- 事務局：〒226-0014 横浜市緑区台村町 186 番地 TEL:090-8729-0856
- メール：eternalloveisrael@gmail.com ●ホームページ：<http://eli.holy.jp>
- 銀行口座：三菱東京 UFJ 銀行 武蔵新城駅前支店 普通預金 0909009 エターナル・ラブ・イスラエル
- 郵便振り込み：00200-9-79214 エターナル・ラブ・イスラエル



代表：宮本 純子（聖契神学校卒業、WMTC 世界宣教研修センター卒業）

## ☆ハヌカ(宮きよめの祭り)☆



(ラビ・メンディ師と)

ハレルヤ！主の聖名を心から賛美いたします。

いつもエターナル・ラブ・イスラエルの働きのためにお祈りと尊いご献金で支えてくださり心から感謝致します。本年も神様の御心に従ってユダヤ人伝道に励んでまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

昨年 12 月 20 日、ハバッド・ジャパン主催、毎年恒例の東京タワーの麓でハヌカ(宮きよめ)の祭りを祝う点灯式が開催されました。ギラッド・コーヘン駐日イスラエル大使、中山泰秀前防衛副大臣、外務省中東アフリカ局参事官の西永知史氏、ラビ・メンディ・スタケヴィッチ師をはじめ数名の方々が登壇し、多くの在日ユダヤ人と共にハヌカをお祝いし楽しい時を過ごしました。

ハヌカは、古代ユダヤ人が異教徒からエルサレム神殿を奪回した際、神殿の燭台に火を灯すための油が 1 日分しか残ってなかったにもかかわらず 8 日間燃え続けたという奇跡から、「光の祭り」とも呼ばれます。ハヌカの祭は毎夕、8 日間にわたり、燭台（ハヌキヤ）にロウソクを 1 本ずつ増やしなが、火を灯します。

ラビ・メンディ・スタケヴィッチ師が「ハヌカサメアフ(良い祝祭を)」と挨拶。ハヌキヤの点灯が行われ、ハヌカの伝統音楽を合唱。日本とイスラエルの交流に貢献したことへの感謝として中山氏にラビから記念品を贈呈。パフォーマーがファイヤーショーを行うと〈光のお祭り〉の盛り上がりは最高潮でした。

会場では、ハヌカの食べ物「スフガニヤ(ジャム入りドーナツ)」や「ラトケス(ポテトパンケーキ)」などの伝統菓子が振る舞われました。

「すべての人を照らすそのまことの光が世に来ようとしていた。この方はもともと世におられ、世はこの方によって造られたのに、世はこの方を知らなかった。この方はご自分のくんに来られたのに、ご自分の民は受け入れなかった。しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。」(ヨハネの福音書 1:9~12)

イエス様による救いの光が、ユダヤ人を照らし、全世界のすべての人を照らしますように。今もメシアが来るのを待ち望んでいるユダヤ人たちが、二千年前に十字架上で自分たちが突き刺した者、イエス様こそがメシアであることを信じ受け入れますよう、ユダヤ人の救いのためにお祈りください。



(ギラッド・コーヘン大使と)



(エリ・コーヘン元大使と)

# ☆エターナル・ラブ・イスラエル 30 周年記念☆

## ☆「森祐理コンサート」&「聖地画展」 同時開催 ☆

エターナル・ラブ・イスラエル 30 周年記念

### 森祐理コンサート♪



聖書の地・イスラエルを想いながら歌い、お話しします。

森 祐理 ~福音歌手~

京都市立芸術大学音楽学部声楽専攻卒。

NHK京都放送局レポーターを経て、NHK教育TV「ゆかいなコンサート」歌のお姉さんを務めた。阪神淡路大震災で車を失う体験を通じ、国内外の被災地にて心の救済物資を届ける働きを継続。

2007年出雲大田彫刻を拝受、2019年台湾外務省より勲章を拝受。

ハンガリーを舞台とした、ラジオ関西「モリユリと行くイスラエル」番組パーソナリティ。CD24種類、DVD、著書等多数発売。

公式HP <https://www.moriyuri.com/>



4月8日(土)午後1時30分開場 午後2時開演

お茶の水クリスチャン・センター8階チャペル  
東京都千代田区神田駿河台2-1(JR 御茶ノ水駅徒歩3分)

入場料:無料(自由献金あり) 定員:先着120名

主催:エターナル・ラブ・イスラエル

代表:宮本 純子(お問合せ 090-8729-0856)/<http://eli.holy.jp>



今年4月で「ユダヤ人伝道団体 エターナル・ラブ・イスラエル」は、創立30周年になります。

マーガレット・F・パワーズの「あしあと」という詩がありますが、振り返れば、エターナル・ラブ・イスラエルの働きは、イエス様がいつも背負って歩いてくださった道のりです。そして、皆さまからのお祈りと温かい励まし、尊いご献金に支えられていることを決して忘れません。

30周年を迎え、あらためて神様と皆さまに心から感謝致します。

ある夜、私は夢を見た。私は、主とともに、なぎさを歩いていた。

暗い夜空に、これまでの私の人生が映し出された。

どの光景にも、砂の上に二人のあしあとが残されていた。

一つは私のあしあと、もう一つは主のあしあとであった。

これまでの人生の最後の光景が映し出されたとき、私は砂の上のあしあとに目を留めた。そこには一つのあしあとしかなかった。私の人生でいちばんつらく、悲しいときだった。このことがいつも私の心を乱していたので、私はその悩みについて主にお尋ねした。

「主よ。私があなたに従うと決心したとき、あなたは、すべての道において私とともに歩み、私と語り合ってくださいと約束されました。それなのに、私の人生の一番辛いとき、一人のあしあとしかなかったのです。一番あなたを必要としたときに、あなたがなぜ私を捨てられたのか、私にはわかりません」

主はささやかれた。「私の大切な子よ。私はあなたを愛している。あなたを決して捨てたりはしない。ましてや、苦しみや試みのときに。あしあとが一つだったとき、私はあなたを背負って歩いていた。」

4月8日、エターナル・ラブ・イスラエルは、30周年記念の感謝をこめて、「森祐理コンサート」と「聖地画展」を同時開催いたします。

福音歌手の森祐理さんの美しい歌声は心に響き渡ります。

イエス・キリストの生涯をたどる旅「モリユリと行くイスラエル」ではナビゲーターを務め、イスラエルを多く旅されています。

## 聖地画展

Eternal Love Israel Exhibition 2023

エターナル・ラブ・イスラエル30周年記念



宮本 純子 宣教師 エターナル・ラブ・イスラエル代表

聖霊神学校卒、WMC 世界宣教師研修センター卒 第一期生。  
19歳からイスラエルのために祈り、17歳の時にユダヤ人伝道の召命を得る。  
1990年からイスラエルに行き来。1993年4月エターナル・ラブ・イスラエル創立。  
在日ユダヤ人伝道、ストリートショップ・ミニストリーを展開。  
2000年イスラエル宣教師としてエルサレムのクワイイスチャーチで専任。  
「イエスに出会ったユダヤ人」(ガリア・アロン著 宮本純子訳 いのちのこぼれ話)  
2017年結婚を機に活動休止し、聖地イスラエルの絵を描き始める。  
2017年セカンドステージとして活動再開。「聖地画展」(スカード)の出版販売。  
アート・ミニストリーで多数の展覧会や留置に出展しつつ、在日ユダヤ人に伝道。

2023年4月8日(土)午後1:00~4:15

森祐理さんのコンサートと同時開催♪入場無料

御茶ノ水クリスチャン・センター8階ロビー(JR 御茶ノ水駅徒歩3分)

お問合せ:エターナル・ラブ・イスラエル [eternallovesrael@gmail.com](mailto:eternallovesrael@gmail.com) 090-8729-0856



「森祐理コンサート」~聖書の地、イスラエルを想いながら歌い、お話しします~

♪日時:4月8日(土)午後1時30分開場 午後2時開演

♪場所:お茶の水クリスチャンセンター8階チャペル

「聖地画展」~宮本純子が描いた聖地イスラエル~

♪日時:4月8日(土)午後1時~4時15分

♪場所:お茶の水クリスチャンセンター8階ロビー

♪皆さまとお会い出来るのを楽しみにしております。ぜひご来場頂けますよう心よりお待ちしております。

## ☆アート・ミニストリーよりお知らせ☆

☆ 2月22日(火)～2月27日(月)「猫んちえと展 2023」

会場: エリスマン邸(みなとみらい線「元町・中華街駅」6番出口)

☆ 3月10日(金)～15日(水)「第8回新百合デッサン会展」

会場: 麻生市民ギャラリー(小田急線「新百合ヶ丘駅」)

☆ 3月28日(火)～4月3日(月)「第11回横浜開港アンデパンダン展」

会場: 横浜市民ギャラリー(JR 根岸線「桜木町駅」)

☆ 4月8日(土)「聖地画展」

会場: お茶の水クリスチャンセンター8階ロビー

☆ 4月19日(水)～23日(日)「第45回記念神奈美公募展」

会場: 神奈川県民ホールギャラリー

☆ 5月17日(水)～29日(月)「第118回太平洋展」

会場: 国立新美術館

🌸 アートを通じて多くの方々にイスラエルの国について、そして福音を伝える働きをしています。皆さまにもぜひご高覧いただければ嬉しく思います。



## ☆2022年1月1日～12月31日 会計報告☆

収入		支出	
前年繰越	1,237,999	郵便手数料	11,782
献金	1,103,500	通信費	80,858
		印刷費	30,210
		消耗品費	3,829
		諸会費	83,280
		事務所費	120,000
		外部献金	103,418
		外注費	38,580
		広告費	37,500
		運搬費	30,800
		次期繰越	1,801,242
合計	2,341,499	合計	2,341,499

主はシオンからあなたを祝福される。  
あなたは、いのちの日の限り、  
エルサレムの繁栄を見よ。(詩篇 128:5)



🌸 愛する皆さま。いつもエターナル・ラブ・イスラエルの働きのために尊いご献金をくださりまして、本当にありがとうございます。心から感謝いたします。エターナルの働きは、皆さまからの尊いご献金によって支えられ、在日ユダヤ人への支援にも用いさせて頂いています。日本で、ひとりでも多くのユダヤ人がイエス様を信じて救われますようにこれからも活動してまいりますので、今後ともよろしくお願い致します。

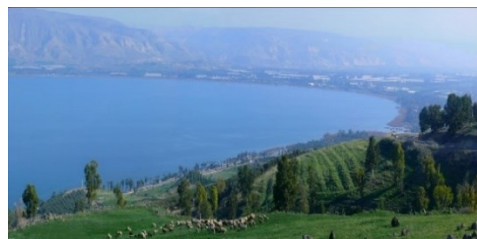
今年3月から、日本とイスラエルを結ぶ直行便(エルアル航空)が就航されるようになります。両国の関係があらゆる分野で益々良い関係を築き、発展することを期待しています。ユダヤ人が多く来日されると思いますので、一人でも多くのユダヤ人に福音をお伝えすることが出来ますように。イエス様を救い主と信じて救われますように。そして、イスラエルに宣教師を派遣できますようにお祈りください。

愛する皆さまの上に、神様の祝福と恵みが益々豊かにありますよう心からお祈り申し上げます。

## ☆ 祈りのリクエスト ☆

「エルサレムの平和のために祈れ。『おまえを愛する人々が栄えるように。おまえの城壁のうちには、平和があるように。おまえの宮殿のうちには、繁栄があるように。』」(詩篇 122:6~7)

- ☆ 神様の深遠なるご計画の中で特別に選ばれ、愛されているユダヤ民族、イスラエルの平和が守られ、神様の計画と御心が成りますように。
- ☆ ユダヤ人がイスラエルに帰還することが出来ますように。
- ☆ イスラエルの国政、ネタニヤフ新政権のためにお祈りください。
- ☆ 世界情勢が激しく動く中、世界中の政治的指導者たちが、神様からの正しい知恵と判断力が与えられ、政治を進める事が出来ますように。
- ☆ 世界中で起きている戦争、紛争、軍事侵攻、テロ、あらゆる対立などがなくなり、平和となりますように。
- ☆ 3月1日から日本とイスラエル間の直行便(エルアル航空)が運航します。日本とイスラエルの関係があらゆる分野で発展し更に良い外交関係を築くことが出来ますように。
- ☆ 新型コロナウイルスの感染拡大が世界中から一刻も早く終息しますように。一人でも多くの方の生命と健康が守られますように。コロナ禍の中で、イエス様を信じて救われる魂が世界中で多く起こされますように。
- ☆ クリスチャンがユダヤ人迫害をした歴史があります。ユダヤ人とクリスチャンが和解できますように。
- ☆ メシアニック・ジューの一人一人の信仰を強めてくださり、イスラエル国内で大胆に伝道できますように。
- ☆ 一人でも多くのユダヤ人がこの日本で、イエス・キリストに出会い救われますように。
- ☆ 日本のクリスチャンの霊的な目が開かれてユダヤ人伝道について正しく理解し、イスラエルの回復のために神様の御心に従って祈り、愛をもって伝道が出来ますように。エターナル・ラブ・イスラエルの働きのために。
- ☆ 主のご再臨のために。イスラエルの回復と救いのために。日本のリバイバルのために。



## ☆ 2023年 春のユダヤの祭り ☆

### ☆ 3月5日~8日 プリムの祭り(ハグ・ハ・プリム)

エステル記の祭り。王妃エステルがハマンによるユダヤ人絶滅計画からユダヤ人を救ったことを記念する祭り。仮装をして賑わいます。

### ☆ 4月5日~4月12日 過越しの祭り(ハグ・ハ・パサッハ)

出エジプト記の祭り。イスラエルの民がモーセに率いられて出エジプトをしたことを記念。お祭りの期間中、イースト菌の入ったパンは禁止され、種なしパンを食します。

### ☆ 4月18日 ホロコースト・メモリアル・デー

ホロコースト記念日。ナチスによるユダヤ人大虐殺を追悼する日。

### ☆ 4月25日 戦没者追悼記念日 メモリアル・デー

### ☆ 4月26日 独立記念日(ヨム・ハ・アツマウト)

1948年のイスラエル建国を祝い、独立の苦勞と喜びを分かち合う。

### ☆ 5月19日 エルサレム・デー

1967年の6日間戦争(第三次中東戦争)で、イスラエルがエルサレムを攻略し統合したことを記念。

### ☆ 5月25日~26日 シャブオット(五旬節・七週祭)

過越しの祭から七週目にあたり、イスラエルで最初の大麥の収穫を祝ったことに由来。モーセがトーラーを授かった日とされています。

🌸 皆さまの上に神様の祝福と恵みが豊かにありますよう心からお祈り申し上げます。

2023年3月 春号発行(季刊誌)

